

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月8日

上場会社名 株式会社ランシステム 上場取引所 東
 コード番号 3326 URL https://www.runsystem.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄 (TEL) 045(594)6411
 定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,408	△26.6	125	△1.4	111	15.9	43	△56.5
2024年3月期	7,366	—	127	—	96	—	99	—

(注) 包括利益 2025年3月期 43百万円(△56.5%) 2024年3月期 99百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	10.21	—	21.9	2.9	2.3
2024年3月期	23.46	—	78.8	2.6	1.7

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(注) 2023年3月期は決算期変更に伴い、2022年7月1日から2023年3月31日までの9ヶ月決算となっております。このため、2024年3月期の対前期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,798	219	5.8	51.73
2024年3月期	3,944	176	4.5	41.51

(参考) 自己資本 2025年3月期 219百万円 2024年3月期 176百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	249	△402	△135	862
2024年3月期	328	128	△77	1,151

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,800	7.2	170	35.1	130	16.0	120	175.8	28.23

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年3月期	4,380,900株	2024年3月期	4,380,900株
2025年3月期	130,490株	2024年3月期	130,490株
2025年3月期	4,250,410株	2024年3月期	4,250,410株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の水面下での流行や材料価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。サービス業・アミューズメント業界においても、物価高や光熱費等のコスト上昇の影響はあるものの、人流回復に伴う緩やかな回復基調が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「コスト最適化」「チームの再構築・人財強化」に注力し、既存の主力事業であるエンターテインメント事業ではサービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、顧客満足度向上の為の店舗改装、お客様目線での店舗別サービス提供を現場スタッフ主導ですすめているほか、システム事業におけるチームの再構築、人財強化を行い、新規取引先を拡大していくための新規商材開発・営業強化等に努めて参りました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,408百万円(前年同期比26.6%減)、営業利益125百万円(前年同期比1.4%減)、経常利益111百万円(前年同期比15.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益43百万円(前年同期比56.5%減)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

なお、3.(5)連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)に記載のとおり、前連結会計年度において児童発達支援事業を行う会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、当連結会計年度より児童発達支援事業を報告セグメントから除外しております。

<エンターテインメント事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、安心安全健全な運営を行っております。店内設備においては、お客様のニーズの高い完全個室への改装等を実施しております。また、不採算店舗の閉店の影響で、売上高は減少しておりますが、営業利益は増加しております。その他、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務や自遊空間店舗で利用している商材の外部への販売、店舗を利用した広告掲出、社員研修・スタッフ研修の外部への販売、バーチャル関連の新規事業開発を進めております。

以上の結果、当連結会計年度末時点では、グループ店舗数82店舗(直営店舗33、FC加盟店舗49)となり、当セグメント全体の売上高は3,220百万円(前年同期比11.1%減)、セグメント利益は188百万円(前年同期比63.7%増)となりました。

<システム事業>

当事業につきましては、注目度の高いセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステムなどの各種システムの販売及び保守、管理業務を行っているほか、新しい商材の開発や新規顧客開拓も進めております。また、当社の親会社であるAOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗へのセルフ化システム、PC関連部材等の導入を進めております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は2,102百万円(前年同期比32.5%減)、セグメント利益は148百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、おおむね計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は85百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は59百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産は1,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円減少しました。これは主に商品及び製品が21百万円増加した一方、現金及び預金が288百万円、売掛金が45百万円減少したことな

どによるものであります。

固定資産は2,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円増加しました。これは主に敷金が141百万円減少した一方、建物及び構築物(純額)が285百万円、リース資産(純額)が36百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、3,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円減少しました。

流動負債は1,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が213百万円増加した一方、資産除去債務が219百万円、買掛金が40百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は2,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少しました。これは主に資産除去債務が167百万円、繰延税金負債が28百万円増加した一方、長期借入金が258百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、3,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少しました。

当連結会計年度末における純資産合計は219百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益43百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は5.8%(前連結会計年度末は4.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ288百万円減少し、862百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は249百万円(前連結会計年度は328百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費193百万円、税金等調整前当期純利益76百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は402百万円(前連結会計年度は128百万円の収入)となりました。これは主に、敷金の回収による収入84百万円等により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出249百万円、資産除去債務の履行による支出202百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は135百万円(前連結会計年度は77百万円の支出)となりました。これは主に、ファイナンスリース債務の返済による支出51百万円、長期借入金の返済による支出45百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社の2026年3月期業績見通しにつきまして、一時期の非常に厳しい経営環境から完全に脱却し、再度大きく成長していくため、収益率が改善されてきたエンターテインメント事業と、リアル店舗運営で培ったノウハウを活かしたシステム事業で収益をあげ、コストマネージメントで安定した財務基盤を構築しつつ、様々なチャレンジを積極的に進めて参ります。

そのため、2026年3月期の業績は、売上高5,800百万円、営業利益170百万円、経常利益130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円となる見込みです。

<エンターテインメント事業>

当事業においては、サービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、新規顧客の開拓、既存顧客の再訪促進、顧客満足度を高める店舗改装、インバウンド需要の取り込みを進めて参ります。

さらに、顔認証システムやAIなどの先端技術の導入やレーシングシミュレーターなどの新しいコンテンツの開拓など、新しいチャレンジにも積極的に取り組んで参ります。

<システム事業>

当事業においては、各種システム等の保守、管理業務や自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務により安定した収益を見込んでいるほか、AOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗への省人化システム、PC関連部材等の導入を見込んでおります。また、我々の強みであるリアル店舗で培ったノウハウを注入したシステムに加え、新たなシステム商材の開発を積極的に進め、様々な業態へ販路を拡大して参ります。

さらに、継続的な成長ができるよう、人員増員、人材育成に注力し、資本業務提携を結んだシステム開発会社の株式会社GSSLABをはじめとした様々な企業と協力し、システム開発を強化、拡大させ、販路を広げることのできるチーム作りを進めて参ります。

<不動産事業>

当事業においては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、当期並みの収益を見込んでおります。

上記以外の事業といたしまして、バーチャルタレントの支援プラットフォーム「FanPicks」のサイト運営等を行っているバーチャル事業部において、Vタレント（VTuber）関連事業における収益を創出するため、様々な試みを継続して実施して参ります。

今後も当社は新規事業の開発・出店に注力し、新たな事業をエンターテインメント事業、システム事業に続く主力事業として成長させるべく努めて参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を継続適用しており、当面のところ変更の予定はありません。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,151,136	862,662
売掛金	387,362	342,105
商品及び製品	93,765	115,235
原材料及び貯蔵品	20,542	14,330
その他	123,164	103,181
貸倒引当金	△917	△3,102
流動資産合計	1,775,054	1,434,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,721,158	2,742,972
減価償却累計額	△1,888,764	△1,625,040
建物及び構築物(純額)	832,393	1,117,931
車両運搬具及び工具器具備品	1,035,817	807,850
減価償却累計額	△970,135	△739,882
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	65,681	67,967
リース資産	202,409	284,596
減価償却累計額	△38,111	△83,696
リース資産(純額)	164,297	200,900
土地	364,014	364,014
建設仮勘定	30,050	25,168
有形固定資産合計	1,456,437	1,775,982
無形固定資産		
ソフトウェア	37,381	44,789
その他	—	11,020
無形固定資産合計	37,381	55,809
投資その他の資産		
長期貸付金	5,664	2,756
敷金	606,769	465,039
繰延税金資産	13,134	16,724
その他	62,436	60,440
貸倒引当金	△12,615	△12,772
投資その他の資産合計	675,388	532,188
固定資産合計	2,169,208	2,363,980
資産合計	3,944,262	3,798,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,600	167,072
1年内返済予定の長期借入金	347,741	560,941
リース債務	42,631	61,567
未払法人税等	8,458	7,272
賞与引当金	—	21,198
資産除去債務	227,186	7,300
その他	321,433	245,704
流動負債合計	1,155,051	1,071,055
固定負債		
長期借入金	2,062,107	1,803,809
リース債務	146,150	169,171
長期未払金	132,150	92,646
資産除去債務	122,933	290,506
繰延税金負債	—	28,907
その他	149,415	122,434
固定負債合計	2,612,755	2,507,475
負債合計	3,767,807	3,578,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	236,430	236,430
利益剰余金	△67,348	△23,939
自己株式	△92,627	△92,627
株主資本合計	176,454	219,863
純資産合計	176,454	219,863
負債純資産合計	3,944,262	3,798,394

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,366,473	5,408,416
売上原価	6,351,802	4,382,218
売上総利益	1,014,670	1,026,197
販売費及び一般管理費	887,132	900,426
営業利益	127,537	125,771
営業外収益		
受取利息及び配当金	218	573
販売手数料収入	3,860	3,108
受取保険金	1,454	6,879
物品売却益	3,984	6,697
受取損害賠償金	341	12,373
助成金収入	6,562	—
利子補給金	2,275	306
その他	618	2,980
営業外収益合計	19,316	32,919
営業外費用		
支払利息	37,440	39,864
控除対象外消費税等	12,392	—
商品廃棄損	—	6,738
その他	389	122
営業外費用合計	50,221	46,725
経常利益	96,632	111,964
特別利益		
固定資産売却益	903	892
関係会社株式売却益	320,762	—
受取保険金	76,275	—
その他	135	—
特別利益合計	398,076	892
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1,757	581
減損損失	59,335	6,168
店舗閉鎖損失	300,750	29,942
火災損失	34,243	—
特別損失合計	396,087	36,693
税金等調整前当期純利益	98,621	76,164
法人税、住民税及び事業税	22,385	7,438
法人税等調整額	△23,483	25,317
法人税等合計	△1,097	32,755
当期純利益	99,719	43,408
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	99,719	43,408

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	99,719	43,408
包括利益	99,719	43,408
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	99,719	43,408
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	236,430	△167,067	△92,627	76,735	76,735
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			99,719		99,719	99,719
当期変動額合計	—	—	99,719	—	99,719	99,719
当期末残高	100,000	236,430	△67,348	△92,627	176,454	176,454

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	236,430	△67,348	△92,627	176,454	176,454
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			43,408		43,408	43,408
当期変動額合計	—	—	43,408	—	43,408	43,408
当期末残高	100,000	236,430	△23,939	△92,627	219,863	219,863

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	98,621	76,164
減価償却費	178,042	193,892
減損損失	59,335	6,168
助成金収入	△6,562	—
固定資産売却損益 (△は益)	△903	△892
固定資産除却損	1,757	581
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	21,198
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,874	2,341
受取利息及び受取配当金	△218	△573
支払利息	37,440	39,864
店舗閉鎖損失	300,750	29,942
火災損失	34,243	—
受取保険金	△76,275	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△320,762	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,526	45,256
棚卸資産の増減額 (△は増加)	13,926	△15,257
仕入債務の増減額 (△は減少)	414	△40,528
その他	25,148	△74,440
小計	304,556	283,719
利息及び配当金の受取額	67	549
利息の支払額	△36,193	△38,028
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△22,823	△8,624
助成金の受取額	6,562	—
保険金の受取額	76,275	—
賠償金の受取額	—	12,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,444	249,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△169,394	△249,059
有形固定資産の売却による収入	903	892
無形固定資産の取得による支出	△26,741	△32,227
資産除去債務の履行による支出	△41,008	△202,240
投資有価証券の取得による支出	—	△1,000
敷金及び保証金の差入による支出	△282	—
敷金の回収による収入	48,965	84,301
長期預り金の受入による収入	4,800	—
長期預り金の返還による支出	△1,350	△5,520
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	310,750	—
その他	1,614	2,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	128,258	△402,483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,576	△45,098
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32,813	△51,378
割賦債務の返済による支出	△25,866	△39,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,255	△135,980
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	379,447	△288,474
現金及び現金同等物の期首残高	771,689	1,151,136
現金及び現金同等物の期末残高	1,151,136	862,662

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、営業外収益の「その他」に含めていた「受取損害賠償金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映するため、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外収益の「その他」959千円は、「受取損害賠償金」341千円、「その他」618千円として組替えております。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積額の変更)

当連結会計年度において、直営店舗等の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復実績等の新たな情報の入手に伴い、資産除去債務を172百万円積み増しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

前連結会計年度において児童発達支援事業を行う会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、当連結会計年度より児童発達支援事業を報告セグメントから除外しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないため、記載していません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	システム事業	不動産 事業	児童発達 支援事業	計		
売上高							
施設利用料収入	3,319,894	—	—	549,312	3,869,206	—	3,869,206
外販収入	300,476	3,113,579	—	—	3,414,056	—	3,414,056
賃料収入	1,624	—	—	—	1,624	—	1,624
顧客との契約 から生じる収益	3,621,995	3,113,579	—	549,312	7,284,887	—	7,284,887
その他の収益	—	—	81,585	—	81,585	—	81,585
外部顧客への 売上高	3,621,995	3,113,579	81,585	549,312	7,366,473	—	7,366,473
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,086	3,830	—	—	4,917	△4,917	—
計	3,623,082	3,117,410	81,585	549,312	7,371,391	△4,917	7,366,473
セグメント利益	115,047	168,918	60,548	58,572	403,087	△275,549	127,537
その他の項目							
減価償却費	159,413	5,510	5,412	2,312	172,649	5,392	178,042
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△275,549千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
売上高						
施設利用料収入	2,952,480	—	—	2,952,480	—	2,952,480
外販収入	268,053	2,102,712	—	2,370,766	—	2,370,766
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,220,533	2,102,712	—	5,323,246	—	5,323,246
その他の収益	—	—	85,169	85,169	—	85,169
外部顧客への売上高	3,220,533	2,102,712	85,169	5,408,416	—	5,408,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,699	—	4,699	△4,699	—
計	3,220,533	2,107,412	85,169	5,413,115	△4,699	5,408,416
セグメント利益	188,199	148,453	59,643	396,297	△270,525	125,771
その他の項目						
減価償却費	175,752	7,851	5,547	189,151	4,741	193,892
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△270,525千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント
(株)快活フロンティア	343,730	エンターテインメント事業
	2,618,681	システム事業

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント
(株)快活フロンティア	371,284	エンターテインメント事業
	1,564,556	システム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	児童発達支援事業	計		
減損損失	59,335	—	—	—	59,335	—	59,335

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
減損損失	6,168	—	—	6,168	—	6,168

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	41円51銭	51円73銭
1株当たり当期純利益	23円46銭	10円21銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	99,719	43,408
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	99,719	43,408
普通株式の期中平均株式数(株)	4,250,410	4,250,410

(重要な後発事象)

該当事項はありません。